

第72回 発電用設備規格委員会 原子力専門委員会 議事録

1. 日 時：2013年2月20日（水）10:00～20:00
2. 場 所：日本機械学会 第1会議室
3. 出席者：(委員23名中、出席者21名；敬称略)
小山（三菱重工）、永田（日立GE）、堂崎（日本原電）、小木曾（川崎重工）、鬼沢（JAEA：PM）
肥田（中部プラントサービス）、町田（テプコシステムズ）、野村（関電）、杉江（原安進）、菊池（JNES）
岩佐（東芝）、小島（東電）、兼近（鹿島：PM）、山田（中部電力）、糸田川（電気協会）、田中（日本製鋼所）
鹿島（電中研）、笠原（東大：AM）、月森（JAEA）、神坐（富士電機）、佐藤（発電技検）
欠席：栗飯原（東大）、望月（阪大）
代理：齋藤（原安進：AM鬼沢委員）
オブザーバー：片山／天野（関西電力）、山本／北条／石生／平井（三菱重工）、伊藤／菅原（東電）
西澤／古川／寺門／大平（日本原電）、加納／平／高坂（日本原燃）、齋藤（原安進）、宮口（IHI）
浅山（JAEA）、清水（日立GE）、三枝／稲田（電中研）、下条（神戸製鋼）、中村（阪大）
事務局：高柳／小沢／栗津
4. 配布資料
72-1：第71回原子力専門委員会議事録案
72-2：投票結果
72-3：新規質問及び未回答質問
72-4：第62回発電用設備規格委員会議事録案
72-5：原子力専門委員会委員／分科会委員案
72-6-1：外部事象シビアアクシデント対策設備設計ガイドライン原子力専門委員会二次投票意見回答案
72-6-2：事例規格一般要求事項投票対応
72-6-3：規格委員会等での資料の取扱い内規提案
72-6-4：シビアアクシデント時格納容器構造健全性評価ガイドライン
72-6-5：原子力専門委員会各分科会活動計画等投票対応
72-6-7：ASME Code Week Los Angeles における MDEP プロジェクト SDO 打合せ報告
72-7-1：コンクリート製原子炉格納容器規格審議項目
72-7-2：CCV規格と米国機械学会関連規格との対応について
72-7-3：コンクリート製原子炉格納容器規格改訂案の概要
72-7-4：コンクリート製原子炉格納容器規格改訂案新旧比較表
72-8-1：軽微な技術上の改訂—ステンレス鋼の材料定数の修正
72-8-2：アライナブラケット等の個別検査対象からの除外理由
72-8-3：30年目以降の検査プログラム変更方法の明確化
72-8-4：クラス2、3機器の欠陥評価法の改訂
72-8-5：事例規格 極限荷重評価法に用いる流動応力
72-8-6：「試験圧力及び試験温度の保持時間に関する質問」回答案
72-9-1：原子力専門委員会書面投票 No. 282 意見回答案
72-9-2：原子力専門委員会書面投票 No. 295 意見回答案
72-9-3：規格委員会書面投票 No. 207 意見回答案
72-9-4：溶接規格 2013 年追補改訂案（その3）
72-10-1～3：設計・建設規格 2013 年追補改訂案規格委員会書面投票対応
72-10-2：設計・建設規格 2013 年追補改訂案材料規格及び溶接規格引用年版改訂案
72-10-3：SFVQ1B 事例規格改訂案公衆審査提案
72-10-4：設計・建設規格 2012 年改訂案「鍛造品の定義」に関する規格委員会書面投票対応
72-11-1：設計規格改訂案
72-11-2：溶接規格改訂案
72-12-1：設計・建設規格付録材料図表への質問回答
72-12-2：材料規格 2012 年版改訂提案（その1）

72-12-3：材料規格 2012 年版 Part2 第 1 章表 1 の見直しの進め方案

72-13-1：事例規格バスケット用ホウ素添加アルミニウム合金他規定案

72-13-2：金属キャスク構造規格 2013 年版改訂案

72-14-1：原子力発電所における配管減肉管理

72-14-2：配管減肉管理に関する技術規格の改定の概要

72-14-3-1：BWR原子力発電所配管減肉管理に関する技術規格（2006 年版）の改訂案（新旧比較表）

72-14-3-2：BWR原子力発電所配管減肉管理に関する技術規格提案 対象系統の追加

72-14-3-3：BWR原子力発電所配管減肉管理に関する技術規格提案 試験実施時期の見直し

72-14-3-4：BWR原子力発電所配管減肉管理に関する技術規格提案 引用規格の年版等の見直し

72-14-3-5：BWR原子力発電所配管減肉管理に関する技術規格提案 用語の見直し

72-14-3-6：BWR原子力発電所配管減肉管理に関する技術規格提案 適用炉型の削除

72-14-3-7：BWR原子力発電所配管減肉管理に関する技術規格提案 重複する表現の見直し

72-14-3-8：BWR原子力発電所配管減肉管理に関する技術規格提案 弁、機器試験対象範囲外記載追加

72-14-3-9：BWR原子力発電所配管減肉管理に関する技術規格提案 質疑応答（プラント運転時間定義）取込

72-14-3-10：BWR原子力発電所配管減肉管理に関する技術規格提案 運転方法変更注意喚起追加

72-14-3-11：BWR原子力発電所配管減肉管理に関する技術規格提案 測定位置に関する明確化

72-14-3-12：BWR原子力発電所配管減肉管理に関する技術規格提案 最小自乗法減肉率算出式修正

72-14-3-13：BWR原子力発電所配管減肉管理に関する技術規格提案 LDI 追加測定点表現明確化

72-14-3-14：BWR原子力発電所配管減肉管理に関する技術規格提案 RT 適用時引用規格例示

72-14-3-15：BWR原子力発電所配管減肉管理に関する技術規格提案 代表部位見直しフロー見直し

72-14-3-16：BWR原子力発電所配管減肉管理に関する技術規格提案 系統図の見直し

72-14-3-17：BWR原子力発電所配管減肉管理に関する技術規格提案 高減肉事例集の見直し

72-14-3-18：BWR原子力発電所配管減肉管理に関する技術規格提案 ヒストグラム等の見直し

72-14-3-19：BWR原子力発電所配管減肉管理に関する技術規格提案 参考-2 における記載の適正化

72-14-4-1：PWR原子力発電所配管減肉管理に関する技術規格提案 新旧比較表

72-14-4-2：PWR原子力発電所配管減肉管理に関する技術規格提案 FAC 試験対象系統の見直し

72-14-4-3：PWR原子力発電所配管減肉管理に関する技術規格提案 FAC 試験対象部位の見直し

72-14-4-4：PWR原子力発電所配管減肉管理に関する技術規格提案 FAC 試験対象系統初期減肉率変更追加

72-14-4-5：PWR原子力発電所配管減肉管理に関する技術規格提案 FAC 試験対象系統及び部位

72-14-4-6：PWR原子力発電所配管減肉管理に関する技術規格提案 液滴衝撃エロージョン試験対象系統見直

72-14-4-7：PWR原子力発電所配管減肉管理に関する技術規格提案 液滴衝撃エロージョン試験対象系統部位

72-14-4-8：PWR原子力発電所配管減肉管理に関する技術規格提案 試験実施時期 2 回目試験実施時期見直し

72-14-4-9：PWR原子力発電所配管減肉管理に関する技術規格提案 液滴衝撃エロージョン追加測定点測定

72-14-4-10：PWR原子力発電所配管減肉管理に関する技術規格提案 FAC 試験対象系統初期設定減肉率検討

72-14-4-11：PWR原子力発電所配管減肉管理に関する技術規格提案 最小自乗法減肉率算出式修正

72-14-4-12：PWR原子力発電所配管減肉管理に関する技術規格提案 引用規格の年版等の見直し

72-14-4-13：PWR原子力発電所配管減肉管理に関する技術規格提案 記載の適正化

72-14-4-14：PWR原子力発電所配管減肉管理に関する技術規格提案 誤記修正について

72-14-4-15：PWR原子力発電所配管減肉管理に関する技術規格提案 JISZ2355 の最新版への適用

72-15：発電用原子力設備規格 設計・建設規格第Ⅱ編 2013 年追補（案）について

72-16：各分科会活動報告

5. 議事内容

（1）開会

小山委員長が委員会開会を宣言した。

（2）出席者紹介

出席者全員の自己紹介を行った。

(3) 議事次第確認

議事次第案の確認を行い、変更の提案はなく、承認された。

(4) 前回議事録確認【資料 72-1】

前回議事録案については既に事務局から関係各位に送付済であるため、内容紹介は省略したが、承認された。

(5) 投票結果報告【資料 72-2】

事務局より、原子力専門委員会投票 No. 295 から 302、規格委員会投票 No. 207 から 217 の投票結果が報告された。

(6) 質問受付&公衆審査結果【資料 72-3】

事務局より、設計・建設規格に関する新規質問（1 件）、検討中質問（1 件）、維持規格に関する新規質問（1 件）の受付が報告された。

(7) 第 63 回発電用設備規格委員会議事録等報告【資料 72-4】

事務局より、第 63 回発電用設備規格委員会の議事録案が報告された。

(8) 原子力専門委員会委員／分科会委員の承認【資料 72-5】

事務局より、以下の通り原子力専門委員会、原子力専門委員会傘下の各分科会委員の再任、退任、新任の委員候補が報告された。

原子力専門委員会：

〔再任〕望月委員、杉江委員、月森委員

設計・建設分科会：

〔再任〕佐々木委員

材料分科会：

〔再任〕高橋委員、横山委員

維持規格分科会

〔再任〕野村主査、小山委員、菊地委員

溶接分科会：

〔再任〕藤岡委員、愛川委員、佐々木委員、門脇委員

〔新任〕大石氏（発電技検）、菅野氏（JNES）

使用済燃料貯蔵施設分科会：

〔再任〕三枝主査、丸岡幹事、吉村委員、広瀬委員、岩佐委員、清水委員、影山委員

認証・認定分科会：

〔再任〕愛川委員、清水委員、笹島委員

〔退任〕風間委員

〔新任〕錦野氏（日立GE）

配管破損防護設計分科会

〔再任〕吉田委員

コンクリート製格納容器規格分科会

〔再任〕西澤幹事

高温規格分科会

〔再任〕林委員、小川委員、菊地委員

環境疲労評価分科会

〔再任〕実金委員

再処理設備分科会

〔再任〕太田副主査

事務局及びオブザーバー退室後、審議した結果、原子力専門委員会委員の再任候補が了解され、各分科会委員の再任候補、新任候補が承認された。

(9) 原子力専門委員会運営に関する審議／報告事項

[審議事項]

(9-1) 外部事象シビアアクシデント対策設備設計ガイドライン投票対応【資料 72-6-1】

宮口規格委員会副委員長より外部事象シビアアクシデント対策設備設計ガイドライン案の原子力専門委員会二次投票結果（可決）の意見回答案に関する説明が行われ、意見回答案が了解された。

(9-2) 事例規格一般要求事項投票対応【資料 72-6-2】

小山委員長より原子力専門委員会書面投票（可決）の意見回答案に関する説明が行われた。議論の結果、回答案は妥当であり、編集上の修正であること、規格委員会に書面投票の提案を行うことが委員全員の賛成により承認された。

(9-3) 規格委員会等での資料の取扱い内規提案【資料 72-6-3】

齋藤委員より規格委員会等での資料の取扱い内規提案に関する説明が行われた。本件、以前検討を行っていたが、公開性等の問題から検討を中断していた。しかし現在ホームページで各種規格データがアップされていること等を踏まえ、検討を再開した。基本は原則公開であるが、JSME 規格作成以外の目的には使用不可とすること、資料配布は委員長判断によること等を基本とする。各委員は本日の資料について意見があれば事務局まで送付することになった。

(9-4) シビアアクシデント時格納容器構造健全性評価ガイドライン【資料 72-6-4-1～3】

永田副委員長よりシビアアクシデント時格納容器構造健全性評価ガイドライン案の概要に関する説明が行われた。対象はBWR鋼製PCVであり、当初は動的荷重の算定等を検討したが、結果的には雰囲気圧力・温度による準静的負荷を適用対象とした。NUPEC, ASME, NUREG 等の知見を踏まえて規格案を策定した。議論の結果、御意見伺いの書面投票を実施することが委員全員の賛成により承認された。

(9-5) 原子力専門委員会各分科会活動計画等投票対応【資料 72-6-5-1～5】

堂崎幹事より原子力専門委員会各分科会活動計画等の御意見伺いの意見回答案に関する説明が行われ、議論の結果、回答案は妥当であること、規格委員会に本資料の説明を実施することが委員全員の賛成により承認された。

[報告事項]

(9-6) 原子力関連学協会規格類協議会状況【資料 71-6-9】

本件については小山委員長より別途資料を各委員に回覧することになった。

(9-7) MDE P の状況【資料 72-6-7】

本件については資料を各委員にて確認することになった。

(10) 原子力発電用設備規格に関する報告／審議

(10-1) 再処理設備規格改訂案に関する審議【資料 72-11-1, 2】

再処理設備分科会の山本主査、加納幹事、設計規格作業会の平幹事、溶接規格作業会の高坂幹事より再処理設備規格改訂案に関する説明が行われた。内容は以下の通り。

①設計規格改訂案【資料 72-11-1】

規格委員会書面投票（No. 1, 3 可決；No. 2 反対票有り）の意見回答案に関する説明が行われた。議論の結果、回答案は妥当であり、編集上の修正であること、規格委員会に回答案の説明を行うことが委員全員の賛成により承認された。主な議論は以下の通り。

・NO.1について、改訂案ではJISZ2241「金属材料引張試験方法」を付録材料図表1に掲げる材料の規格で要求される引張試験の方法によることと修正しているが、設計規格に記載されている全ての材料はJIS規格等で引張試験が規定されているのか？→確認する。

・NO.3について、角形管板への適用拡大にあたり文献の内容から判断したという考察を解説へ追加し、修正案を原子力専門委員会委員へ確認すること。→拝承。

②溶接規格改訂案【資料72-11-2】

溶接規格改訂案の原子力専門委員会書面投票提案に関する説明が行われた。議論の結果、書面投票を実施することが委員全員の賛成により承認された。

(10-2) コンクリート製原子炉格納容器規格改訂案に関する審議【資料72-7-1～4】

コンクリート製格納容器規格分科会の西澤幹事、古川委員よりコンクリート製原子炉格納容器規格改訂案の原子力専門委員会書面投票提案に関する説明が行われた。議論の結果、書面投票を実施することが委員全員の賛成により承認された。主な議論は以下の通り。

・資料72-7-2は書面投票の参考資料とすること。また例えば対応表のCCV規格の欄において6350温度が重複して記載されているなど、誤記と思われる箇所もあるので、再度内容を確認すること。→拝承。

(10-3) 維持規格改訂案に関する審議【資料72-8-1～6】

維持規格分科会の野村主査、検査作業会の寺門主査、評価作業会の北条主査より維持規格改訂案に関する説明が行われた。内容は以下の通り。

①軽微な技術上の改訂—ステンレス鋼の材料定数の修正【資料72-8-1】

原子力専門委員会二次投票（可決）の意見回答案に関する説明が行われた。議論の結果、反対が1票あったが、回答案は妥当であり、編集上の修正であることとなった。規格委員会に書面投票の提案を行うことが委員全員の賛成により承認された。主な議論は以下の通り。

・引用文献のJ-R曲線係数の誤記を修正した場合、ステンレス鋼管の現行Z係数は非保守側になってしまう。Z係数の保守性を検討するべきではないのか？→今回の提案はJ-R曲線係数の誤記を修正するものであり、Z係数の改訂は別途提案する。

②アライナブラケット等の個別検査対象からの除外理由【資料72-8-2】

原子力専門委員会二次投票（可決）の意見回答案に関する説明が行われた。議論の結果、回答案は妥当であること、規格委員会に書面投票の提案を行うことが委員全員の賛成により承認された。

③30年目以降の検査プログラム変更方法の明確化【資料72-8-3】

規格委員会書面投票（可決）の意見回答案に関する説明が行われた。議論の結果、回答案は妥当であること、規格委員会に回答案の説明を行うことが委員全員の賛成により承認された。

④クラス2、3機器の欠陥評価法の改訂【資料72-8-4】

規格委員会書面投票（可決）の意見回答案に関する説明が行われた。議論の結果、回答案は妥当であり、編集上の修正であること、規格委員会に回答案の説明を行うことが委員全員の賛成により承認された。

⑤事例規格 極限荷重評価法に用いる流動応力【資料72-8-5】

規格委員会書面投票（可決）の意見回答案に関する説明が行われた。議論の結果、回答案は妥当であり、編集上の修正であること、規格委員会に回答案の説明を行うことが委員全員の賛成により承認された。主な議論は以下の通り。

・適用対象について、フェライト鋼で浅い欠陥で σ_u で破壊するというデータが示されておらず、フェライト鋼まで適用できるのか？→本提案は、添付E-11のスクリーニングクライテリアで極限荷重法が適用できるとした

材料に対して、不具合を是正する措置であり、フェライト鋼でも適用できると考える。また、炭素鋼配管の減肉破壊試験で、引張強さ相当で破壊した事例もあり、そのペーパーを添付する。

・参考資料における式(1)、(2)のエルの記載が説明文の記載と相違するので、修正すること。→拝承。

⑥QNA200802「試験圧力及び試験温度の保持時間に関する質問」 回答案【資料 72-8-6】

QNA200802「試験圧力及び試験温度の保持時間に関する質問」回答案に関する説明が行われた。議論の結果、回答案は妥当であることが委員全員の賛成により承認された。

(10-4) 溶接規格改訂案に関する審議【資料 72-9-1~4】

溶接分科会の杉江幹事より溶接規格改訂案に関する説明が行われた。内容は以下の通り。

①原子力専門委員会書面投票 No. 282 意見回答案【資料 72-9-1】

原子力専門委員会書面投票 No. 282（反対票有り）の意見回答案に関する説明が行われた。議論の結果、反対票は取り下げられたが、記載を一部修正したため、2 週間の期間で再投票を行うことが委員全員の賛成により承認された。主な議論は以下の通り。

裏はつりについて、「手入れ後に適切な形状であることを確認することが望ましい」という記載があるが、「望ましい」という記載はあいまいではないか？→溶接規格では溶接事業者検査での取扱いに関することを記載できないため、そのような表現にしている。

②原子力専門委員会書面投票 No. 295 意見回答案【資料 72-9-1】

原子力専門委員会書面投票 No. 295（反対票有り）の意見回答案に関する説明が行われた。議論の結果、反対票は取り下げられたが、記載を一部修正したため、2 週間の期間で再投票を行うことが委員全員の賛成により承認された。主な議論は以下の通り。

耐圧試験代替の非破壊試験において、プログレスPT等を行う場合は初層部の検査も追加すべきではないか？→溶接部の規定非破壊試験では初層部の検査は要求されていないため、耐圧代替非破壊試験でも要求しないことにした。

耐圧試験代替の非破壊試験において、ラグ、ブラケット等の重要なものを取り付ける溶接部もプログレスPT等を行う必要があるのか？→現状、耐圧代替非破壊試験が要求されているため規定することにしたが、今後の課題として必要性の有無について検討の余地はあると考えられる。

③規格委員会書面投票 No. 207 意見回答案【資料 72-9-3】

規格委員会書面投票 No. 207（一部反対票有り）の意見回答案に関する説明が行われた。議論の結果、回答案は妥当であり、編集上の修正であること、規格委員会に回答案の説明を行うことが委員全員の賛成により承認された。

④溶接規格 2013 年追補改訂案（その3）【資料 72-9-4】

溶接規格 2013 年追補改訂案（その3）の原子力専門委員会書面投票提案に関する説明が行われた。議論の結果、書面投票を実施することが委員全員の賛成により承認された。

(10-5) 設計・建設規格改訂案に関する審議【資料 72-10-1~4】

設計・建設分科会の永田主査より、設計・建設規格改訂案に関する説明が行われた。内容は以下の通り。

①設計・建設規格 2013 年追補改訂案規格委員会書面投票対応【資料 72-10-1-1~3】

設計・建設規格 2013 年追補改訂案の規格委員会書面投票（可決）の意見対応案に関する説明が行われた。議論の結果、対応案は妥当であり、編集上の修正であること、規格委員会に対応案の説明を行い、公衆審査の提案を行うことが委員全員の賛成により承認された。

②設計・建設規格 2013 年追補改訂案材料規格及び溶接規格引用年版改訂案【資料 72-10-2】

設計・建設規格 2013 年追補改訂案における材料規格及び溶接規格引用年版改訂案の原子力専門委員会書面投票提案に関する説明が行われた。議論の結果、書面投票を実施することが委員全員の賛成により承認された。なお、材料規格 2013 年追補案及び溶接規格 2013 年追補案共に改訂案の見直しがあったため、それに対応して本改訂案の見直しを行うことになった。

③SFVQ1B 事例規格改訂案公衆審査提案【資料 72-10-3】

事例規格圧力容器用調質型合金鋼鍛鋼品 SFVQ1B に関する規定改訂案の規格委員会書面投票（可決）を受けて、次回規格委員会に本改訂案の公衆審査の提案を行うことが報告された。

④設計・建設規格 2012 年改訂案「鍛造品の定義」に関する規格委員会書面投票対応【資料 72-10-4】

設計・建設規格 2012 年改訂案「鍛造品の定義」に関する規格委員会書面投票対応に関する説明が行われた。本提案はいったん取り下げ、改訂内容を再検討した後、2014 年追補改訂案として再度提案する旨、報告された。

（10-6）材料規格改訂案に関する審議【資料 72-12-1】

材料分科会の山田主査より、材料規格改訂案に関する説明が行われた。内容は以下の通り。

①設計・建設規格付録材料図表への質問回答【資料 72-12-1-1～2】

設計・建設規格付録材料図表への質問回答案に関する説明が行われた。

議論の結果、QNC200599、QNC2005102 の質問回答案が委員全員の賛成により承認された。

②材料規格 2012 年版改訂提案（その 1）【資料 72-12-2】

材料規格 2012 年版改訂提案（その 1）の原子力専門委員会書面投票提案に関する説明が行われた。議論の結果、書面投票を実施すること及び書面投票可決を条件に規格委員会に書面投票の実施を提案することが委員全員の賛成により承認された。

③材料規格 2012 年版 Part2 第 1 章表 1 の見直しの進め方案【資料 72-12-3】

材料規格 2012 年版 Part2 第 1 章表 1 の見直しの進め方案に関する説明が行われた。議論の結果、まずは見直し方針に関する御意見を頂戴することになり、御意見伺いの書面投票を実施することが委員全員の賛成により承認された。なお、見直しに当たっては、設計・建設分科会と十分な調整を行うことになった。

（10-7）使用済燃料貯蔵施設規格改訂案に関する審議【資料 72-13-1～3】

使用済燃料貯蔵施設分科会の三枝主査、片山副主査、清水委員、石生委員、下条委員より使用済燃料貯蔵施設規格改訂案に関する説明が行われた。内容は以下の通り。

①事例規格バスケット用ほう素添加アルミニウム合金他規定案【資料 72-13-1-1～6】

事例規格バスケット用ほう素添加アルミニウム合金他規定案の規格委員会書面投票（反対票有り）の意見回答案に関する説明が行われた。議論の結果、回答案は妥当であり、編集上の修正であること、規格委員会に回答案の説明を行うことが委員全員の賛成により承認された。主な議論は以下の通り。

・クリープ評価については、材料特性と製品としての特徴を考える必要がある。FBR の様な高温機器に比べて、実際のキャスクでは作用する応力も低く、温度が単調減少する。このような特徴を考慮すると、高温クリープが問題となる様な温度領域にならないため、クリープ歪みが十分小さく問題ないというポジションをまとめたらどうか？使用環境を含めた全体的な考え方が必要であり、二次投票になった場合には論点整理として必要になる。→必要に応じてポジションをまとめた後、事務局経由で原子力専門委員会各委員に回覧する。

②金属キャスク構造規格 2013 年版改訂案【資料 72-13-2-1～7】

金属キャスク構造規格 2013 年版改訂案の原子力専門委員会書面投票（反対票有り）の意見回答案に関する説

明が行われた。議論の結果、反対票は取り下げられたが、記載を大幅に修正したため、再投票を行うことが委員全員の賛成により承認された。主な議論は以下の通り。

・GSUS329J4L 材はPWHT が不要であるが、表 MCN-2600-4「母材の区分」では分類できないため、改訂案ではPWHT の実施が必須となってしまう。

(10-8) 配管減肉管理規格改訂案に関する審議【資料 72-14-1～4】

配管減肉分科会の稲田主査、中村委員、伊藤委員、BWR 作業会の大平主査、菅原委員、PWR 作業会の天野副主査、平井幹事より配管減肉管理規格改訂案に関する説明が行われた。BWR の配管減肉管理に関する技術規格（2006 年版）改訂案には 20 件、PWR の配管減肉管理に関する技術規格（2006 年版）改訂案には 17 件の件名があり、議論の結果、今回は配管分岐合流部の管理に関する追加要求以外の件名について原子力専門委員会の書面投票を実施することが委員全員の賛成により承認された。投票は各件名毎に採決が分かる様にし、投票件名が多いので投票期間は 2 ヶ月とした。

(10-9) 高速炉規格改訂案に関する審議【資料 72-15】

高温規格分科会の浅山主査より高速炉規格改訂案に関する説明が行われた。議論の結果、原子力専門委員会の書面投票を実施すること及び書面投票可決を条件に規格委員会に書面投票の実施を提案することが委員全員の賛成により承認された。

(11) 各分科会活動報告【資料 72-16】

各分科会より活動報告が説明された。

6. その他

原子力専門委員会の今後の予定は以下の通りになった。

第 73 回：2013 年 5 月 29 日（水）10:00～17:00（予定）JSME 第 1 会議室

第 74 回：2013 年 8 月 28 日（水）10:00～17:00（予定）JSME 第 1 会議室

以上